

各関係機関長 殿  
病害虫防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
病害虫防除所長  
(公印省略)

平成23年度農作物病害虫発生予察情報について

平成23年度農作物病害虫発生予報及び月報を発表したので送付します。

---

平成23年度農作物病害虫発生予報第2号

平成23年5月16日  
徳島県

## I. 果樹 カンキツ

そうか病

1) 予報内容

発生量 平年よりやや少なく(前年並), 発生程度は「少」

2) 予報の根拠

- (1) 5月前半の巡回調査では, 発生を認めていない(平年同時期の発生圃場率は11.3%, 発病度は0.1)。
- (2) 5月13日発表の1ヶ月予報では, 天気は数日の周期で変わり平年に比べ晴れの日が多い見込みであり, 気温は平年並から高く, 降水量は平年並～少ない, 日照時間は平年並～多いと見込まれており, やや発生抑制的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 発生園では落花期に薬剤防除を行なう。

黒点病

1) 予報内容

発生量 平年よりやや少なく(前年並), 発生程度は「少」

2) 予報の根拠

- (1) 5月前半の巡回調査では, 春葉での発生を認めていない(平年同時期も未発生)。
- (2) 5月13日発表の1ヶ月予報では, 天気は数日の周期で変わり平年に比べ晴れの日が多い見込みであり, 気温は平年並から高く, 降水量は平年並～少ない, 日照時間は平年並～多いと見込まれており, やや発生抑制的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 枯れ枝, 剪定枝は園外へ持ち出して処分し, 病原菌密度の低下に努める。
- (2) 落花期に薬剤防除を行ない, その後1ヶ月, または降水量200～250mm毎に防除を励行する。

かいよう病

1) 予報内容

発生量 平年並(前年並)で, 発生程度は「少」

2) 予報の根拠

- (1) 5月前半の巡回調査では, 発生圃場率は30.0%, 発病度は0.2でほぼ平年(43.1%, 0.2)並である。
- (2) 5月13日発表の1ヶ月予報では, 天気は数日の周期で変わり平年に比べ晴れの日が多い見込みであり, 気温は平年並から高く, 降水量は平年並～少ない, 日照時間は平年並～多いと見込まれており, やや発生抑制的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 罹病枝のせん除を行ない, 常発園や罹病性品種園では防除を励行する。

(2)風当たりの強い園では防風対策を講じる。

#### ヤノネカイガラムシ

1) 予報内容

発生時期 平年より遅い

2) 予報の根拠

(1) 5月16日時点において、県予察圃場での第1世代幼虫の初発生は確認していない(平年：5月14日、前年：5月21日)。

3) 防除上注意すべき事項

(1) 薬剤による防除適期は、IGR剤の場合、発生確認の10～15日後、有機リン剤の場合、35～40日後の時期である。

#### ミカンハダニ

1) 予報内容

発生量 平年よりやや多く(前年よりやや多い)、発生程度は「少」

2) 予報の根拠

(1) 5月前半の巡回調査では、発生圃場率は60.0%で平年(39.3%)よりやや多く、寄生葉率も9.2%で平年(5.3%)よりやや多い。

(2) 5月13日発表の1ヶ月予報では、天気は数日の周期で変わり平年に比べ晴れの日が多い見込みであり、気温は平年並から高く、降水量は平年並～少ない、日照時間は平年並～多いと見込まれており、発生助長的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

(1) 多発すると防除が困難になるので初期防除に努める。防除の際には、充分な量の薬液を散布する。

(2) ミカンハダニは薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用を避ける。

#### ナシ

##### 黒星病

1) 予報内容

発生量 平年並(前年並)で、発生程度は「少」

2) 予報の根拠

(1) 5月前半の巡回調査では、発生圃場率は25.0%で平年(11.8%)よりやや多く、発病葉率も0.9%で平年(0.2%)よりやや多い。しかし、発病果は認めていない(平年0.1%)。

(2) 5月13日発表の1ヶ月予報では、天気は数日の周期で変わり平年に比べ晴れの日が多い見込みであり、気温は平年並から高く、降水量は平年並～少ない、日照時間は平年並～多いと見込まれており、やや発生抑制的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

(1) 防除暦に準拠し、初期防除に努める。

#### アブラムシ類

1) 予報内容

発生量 平年よりやや多く(前年並)、発生程度は「中」

2) 予報の根拠

(1) 5月前半の巡回調査では、発生圃場率は87.5%、寄生新梢率は7.3%であり、平年(43.8%、4.6%)と比べてやや多めの発生である。

(2) 5月13日発表の1ヶ月予報では、天気は数日の周期で変わり平年に比べ晴れの日が多い見込みであり、気温は平年並から高く、降水量は平年並～少ない、日照時間は平年並～多いと見込まれており、発生助長的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

(1) 多発すると防除が困難になるので初期防除に努める。

(2) アブラムシ類は葉裏や芯芽に寄生しているので、薬液が葉裏にも充分付着するように丁寧に散布する。防除の際には、充分な量の薬液を散布する。

(3) 薬剤抵抗性の発達をもたらす恐れがあるので、同一系統の薬剤の連用は避ける。

## 果樹共通

### 果樹カメムシ類

#### 1) 予報内容

- 発生時期 平年より遅い(前年より遅い)  
発生量 平年より少なく(前年並), 発生程度は「少」

#### 2) 予報の根拠

- (1) 今春の予察灯調査において、上板町では平年(4月23日)より遅い5月7日にツヤアオカメムシの初誘殺を確認した。  
(2) 5月13日発表の1ヶ月予報では、天気は数日の周期で変わり平年に比べ晴れの日が多い見込みであり、気温は平年並から高く、降水量は平年並～少ない、日照時間は平年並～多いと見込まれており、発生助長的な気象条件である。

[ツヤアオカメムシの誘殺数]

月半旬	勝					浦					町					上					板					町				
	2011年	2010年	2009年	2008年	平年	2011年	2010年	2009年	2008年	平年	2011年	2010年	2009年	2008年	平年	2011年	2010年	2009年	2008年	平年	2011年	2010年	2009年	2008年	平年	2011年	2010年	2009年	2008年	平年
5.1	0	12	5	5	34	0	23	6	4	51	0	23	6	4	51	0	23	6	4	51	0	23	6	4	51	0	23	6	4	51
5.2	2	57	42	8	86	10	70	21	2	87	10	70	21	2	87	10	70	21	2	87	10	70	21	2	87	10	70	21	2	87
5.3	59	6	130	1	50	7	0	32	0	82	7	0	32	0	82	7	0	32	0	82	7	0	32	0	82	7	0	32	0	82
5.4		381	51	8	122		138	35	5	56		138	35	5	56		138	35	5	56		138	35	5	56		138	35	5	56
5.5		126	9	56	87		81	36	8	52		81	36	8	52		81	36	8	52		81	36	8	52		81	36	8	52
5.6		10	60	28	112		1	17	3	20		1	17	3	20		1	17	3	20		1	17	3	20		1	17	3	20
6.1		33	28	8	80		14	9	3	17		14	9	3	17		14	9	3	17		14	9	3	17		14	9	3	17

[チャバネアオカメムシの誘殺数]

月半旬	勝					浦					町					上					板					町				
	2011年	2010年	2009年	2008年	平年	2011年	2010年	2009年	2008年	平年	2011年	2010年	2009年	2008年	平年	2011年	2010年	2009年	2008年	平年	2011年	2010年	2009年	2008年	平年	2011年	2010年	2009年	2008年	平年
5.1	0	2	0	11	11	0	1	3	5	21	0	1	3	5	21	0	1	3	5	21	0	1	3	5	21	0	1	3	5	21
5.2	3	10	17	1	49	12	6	46	3	48	12	6	46	3	48	12	6	46	3	48	12	6	46	3	48	12	6	46	3	48
5.3	8	0	33	0	24	11	0	86	0	44	11	0	86	0	44	11	0	86	0	44	11	0	86	0	44	11	0	86	0	44
5.4		61	12	1	47		13	11	5	18		13	11	5	18		13	11	5	18		13	11	5	18		13	11	5	18
5.5		124	3	5	65		17	4	8	21		17	4	8	21		17	4	8	21		17	4	8	21		17	4	8	21
5.6		3	5	3	49		1	4	2	10		1	4	2	10		1	4	2	10		1	4	2	10		1	4	2	10
6.1		47	5	2	23		1	5	2	22		1	5	2	22		1	5	2	22		1	5	2	22		1	5	2	22

#### 3) 防除上注意すべき事項

- (1) 果樹園周辺の雑木林から成虫が飛来するので、園内を巡回し飛来に注意するとともに、飛来を認めたら早急に防除を行なう。  
(2) 夜行性の虫なので、薬剤の散布は夕方か早朝に実施する。  
(3) 移動性が大きいので、広域一斉防除により防除効果の向上に努める。

## II. その他

- 1) 薬剤の使用に当たっては必ず使用基準を遵守し、周辺作物等へ飛散しないようにして下さい。  
2) 水田に薬剤を使用したときは、7日間以上止水して下さい。

### 発生量の表示

発生程度：甚>多>中>少>無

発生量：多い>やや多い>並>やや少ない>少ない

徳島県立農林水産総合技術支援センター病害虫防除所  
U R L : <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/boujyosyo/>

○病害虫の発生予察情報、発生状況、防除法等をお知らせしています。